

DIAGRAM

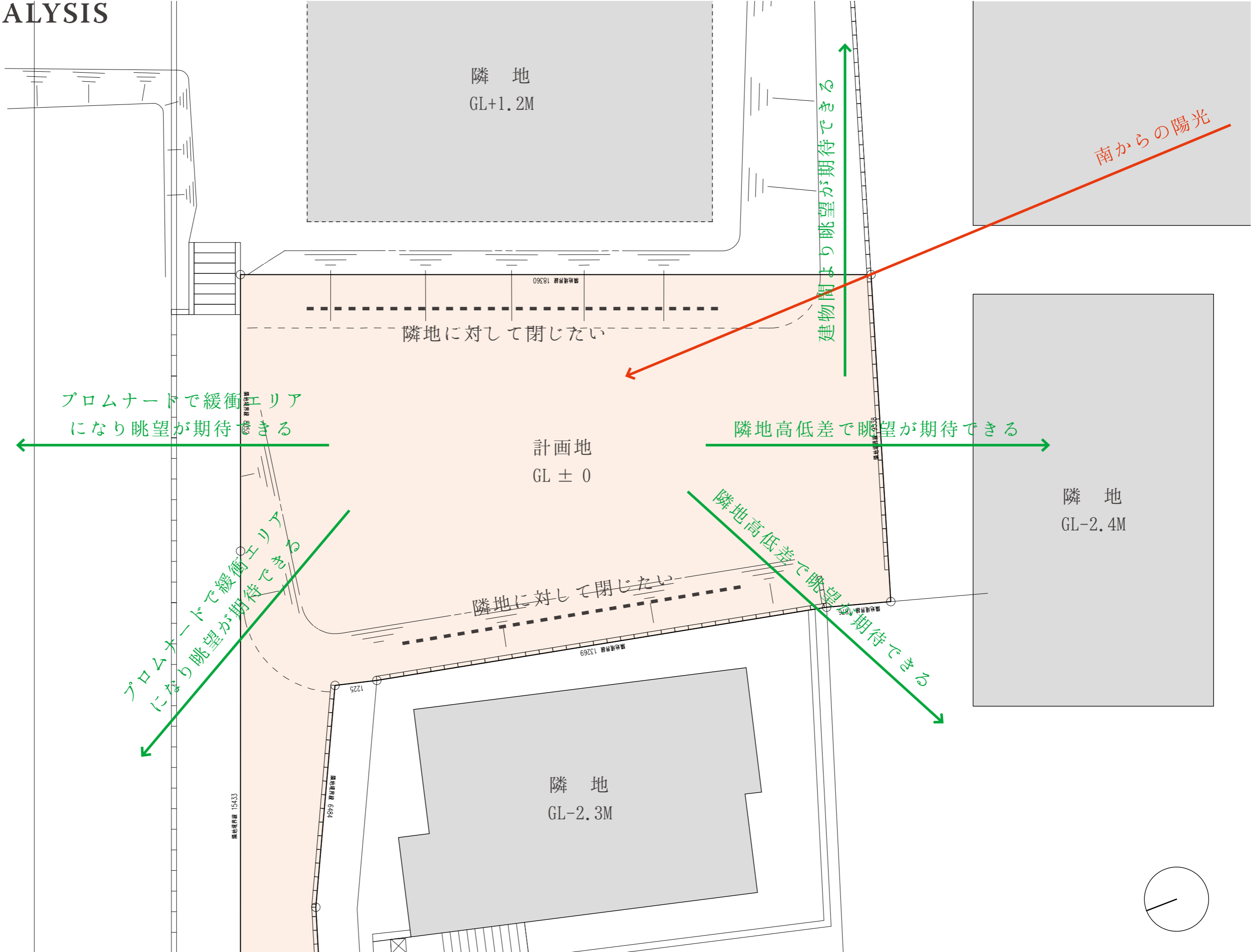


SITE ANALYSIS



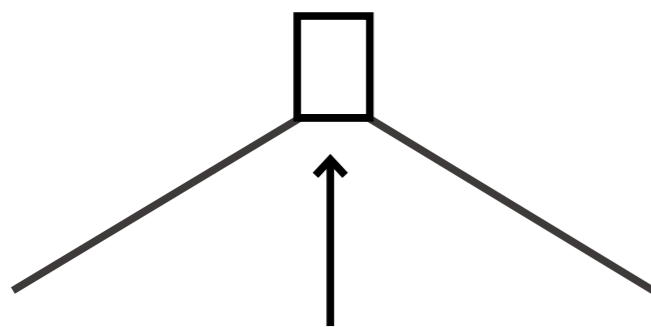
敷地は、鶴岡八幡宮を通りすぎて、奥へ奥へと進んでいった道のりの先にある

SITE ANALYSIS



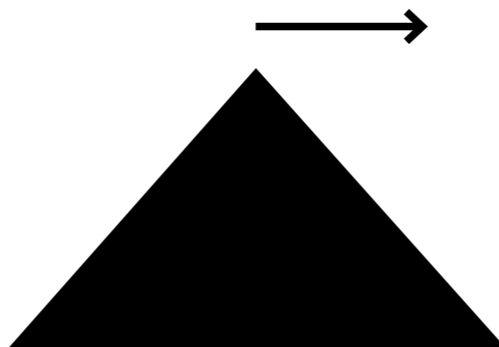
DIAGRAM

1



道のり

2



眺望

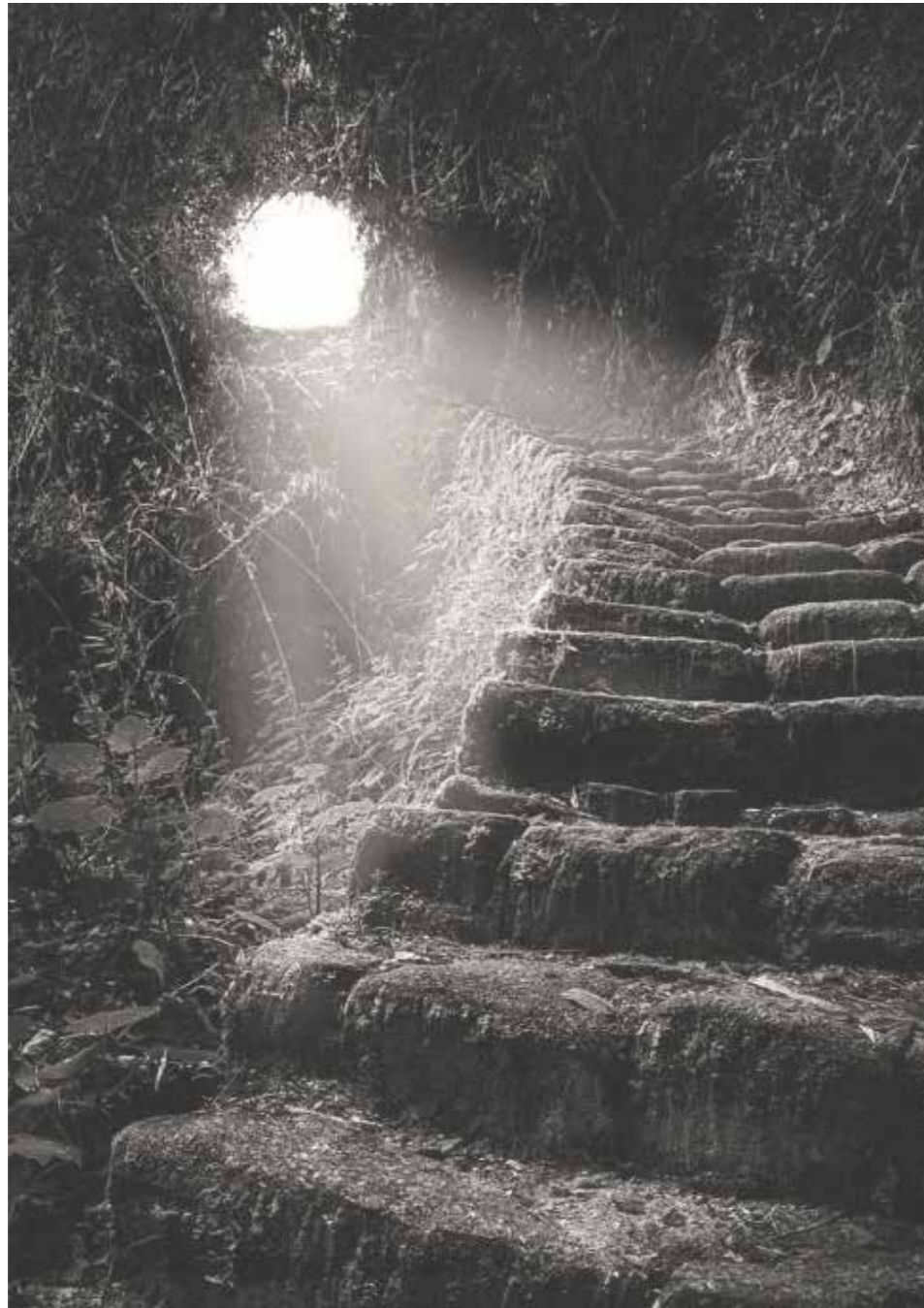
3



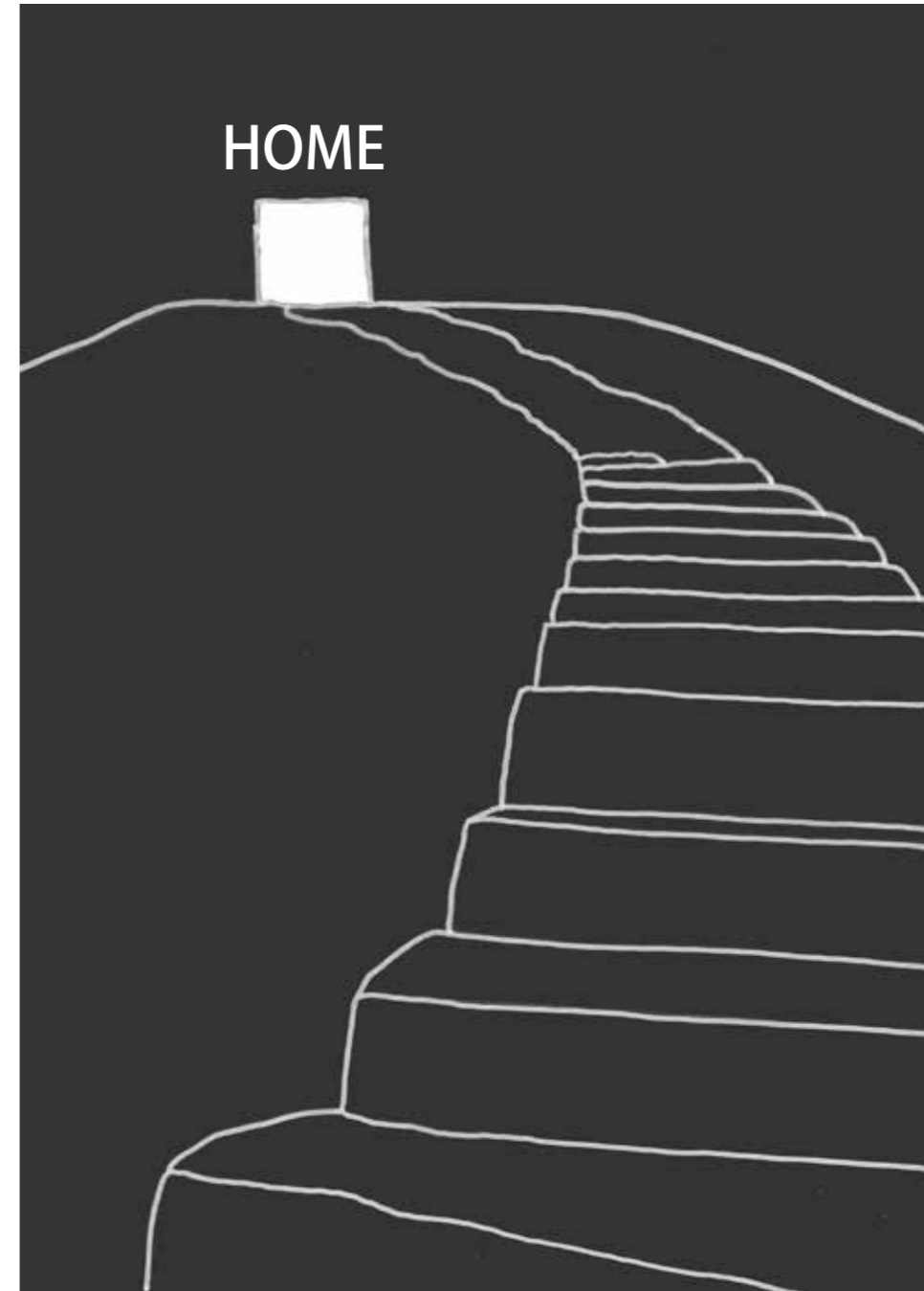
門

DIAGRAM-1

道のりの先にある目的地



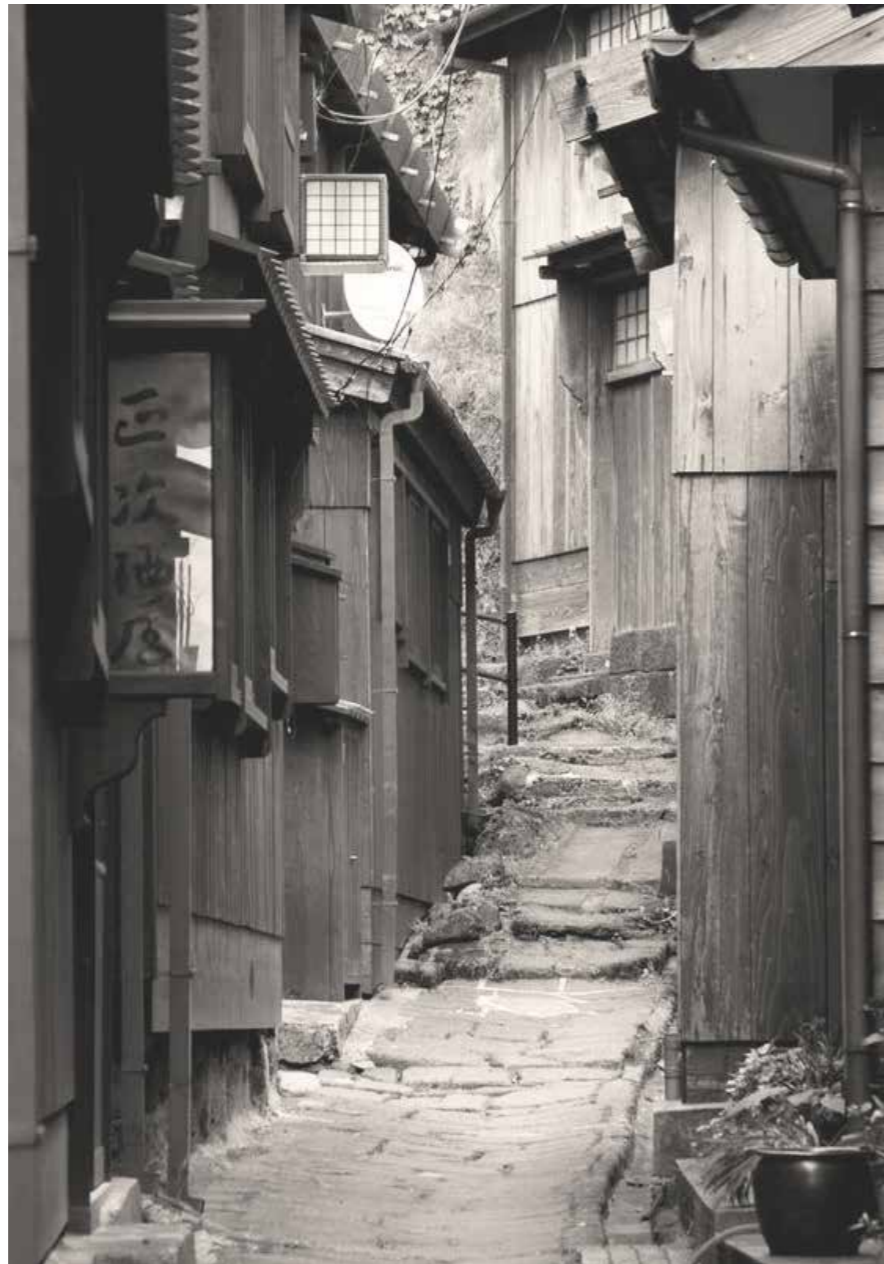
道のりの先にある家



長い道のり、だからこそ豊かな道のり、その体験の先に家がある

DIAGRAM-1

町のなかの路地（道のり）



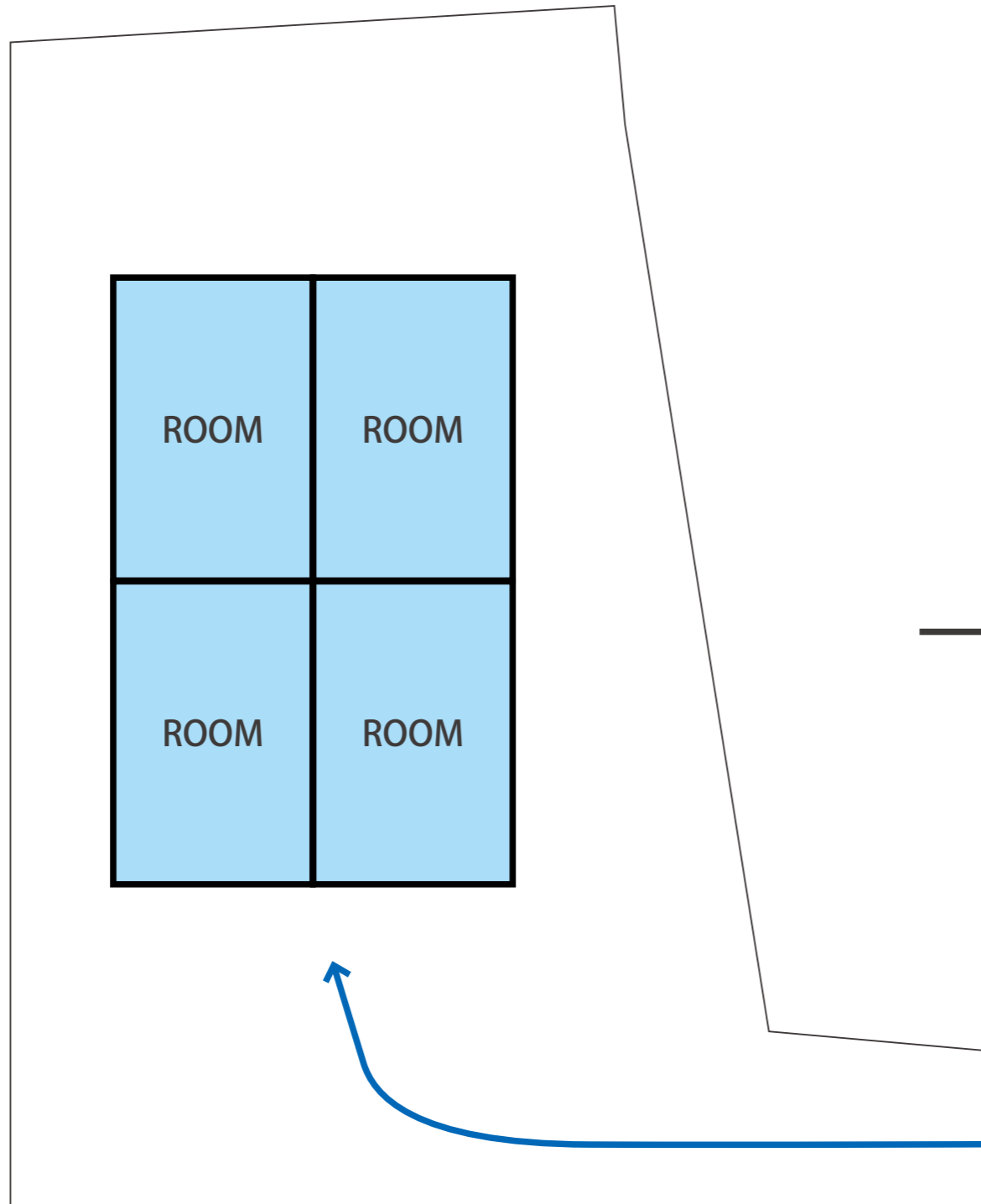
家のなかの路地（道のり）



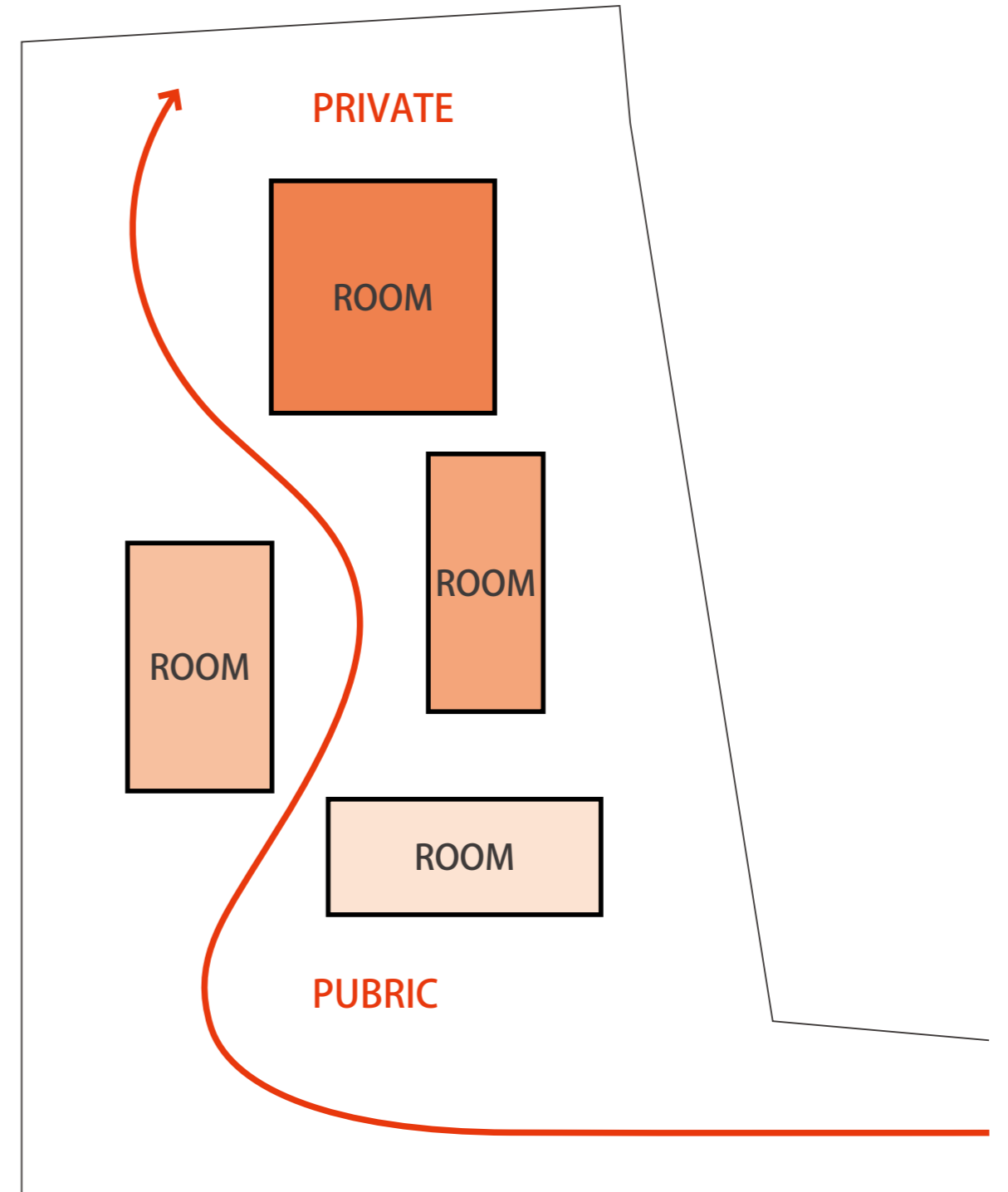
その道のりの体験を家のなかにも引き継ぐ。まるで町のなかの路地のように、家のなかにも路地のような空間、手前（パブリック空間）と奥（プライベート空間）をつくりだす。

DIAGRAM-1

路地のない間取り



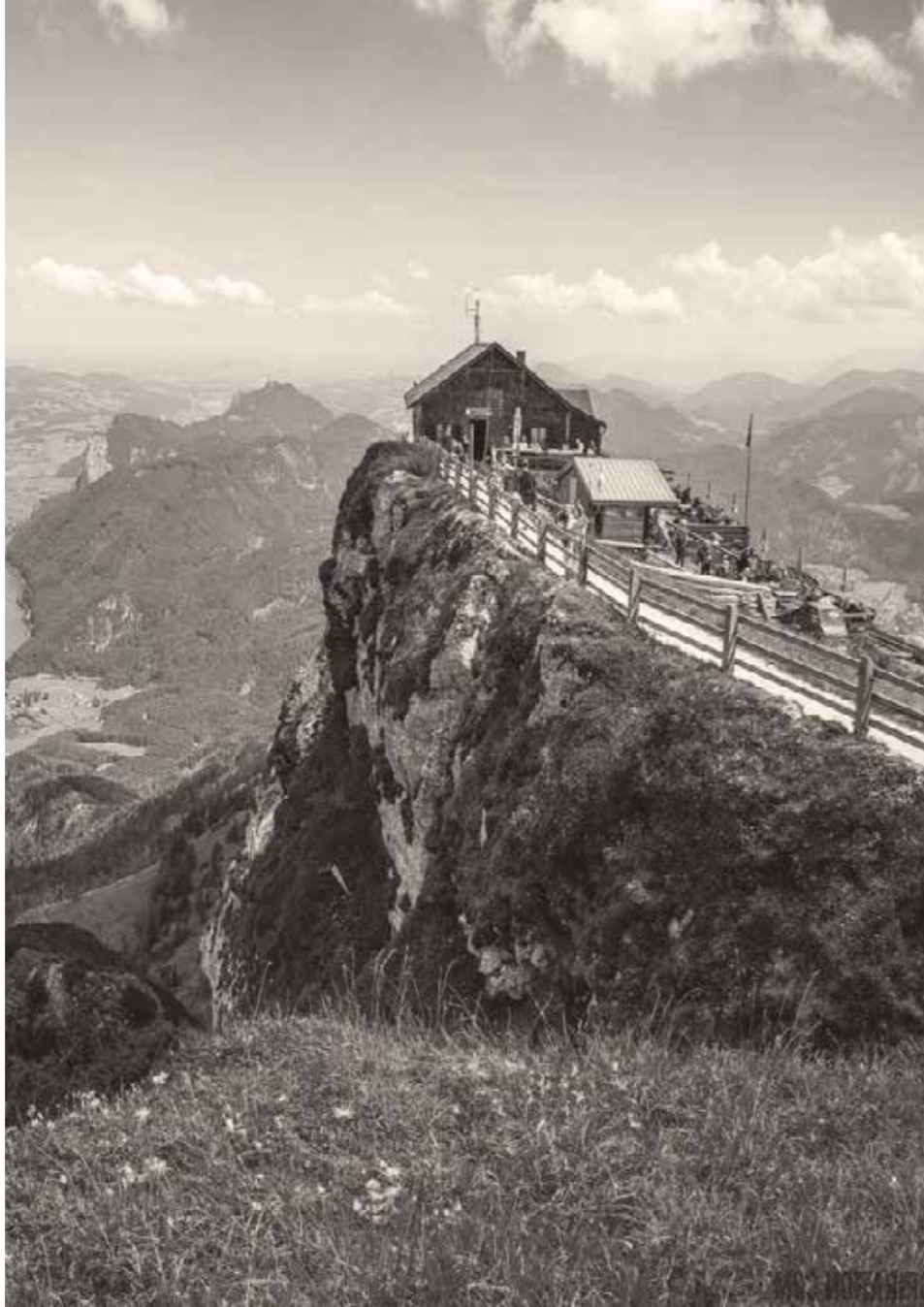
路地のある間取り



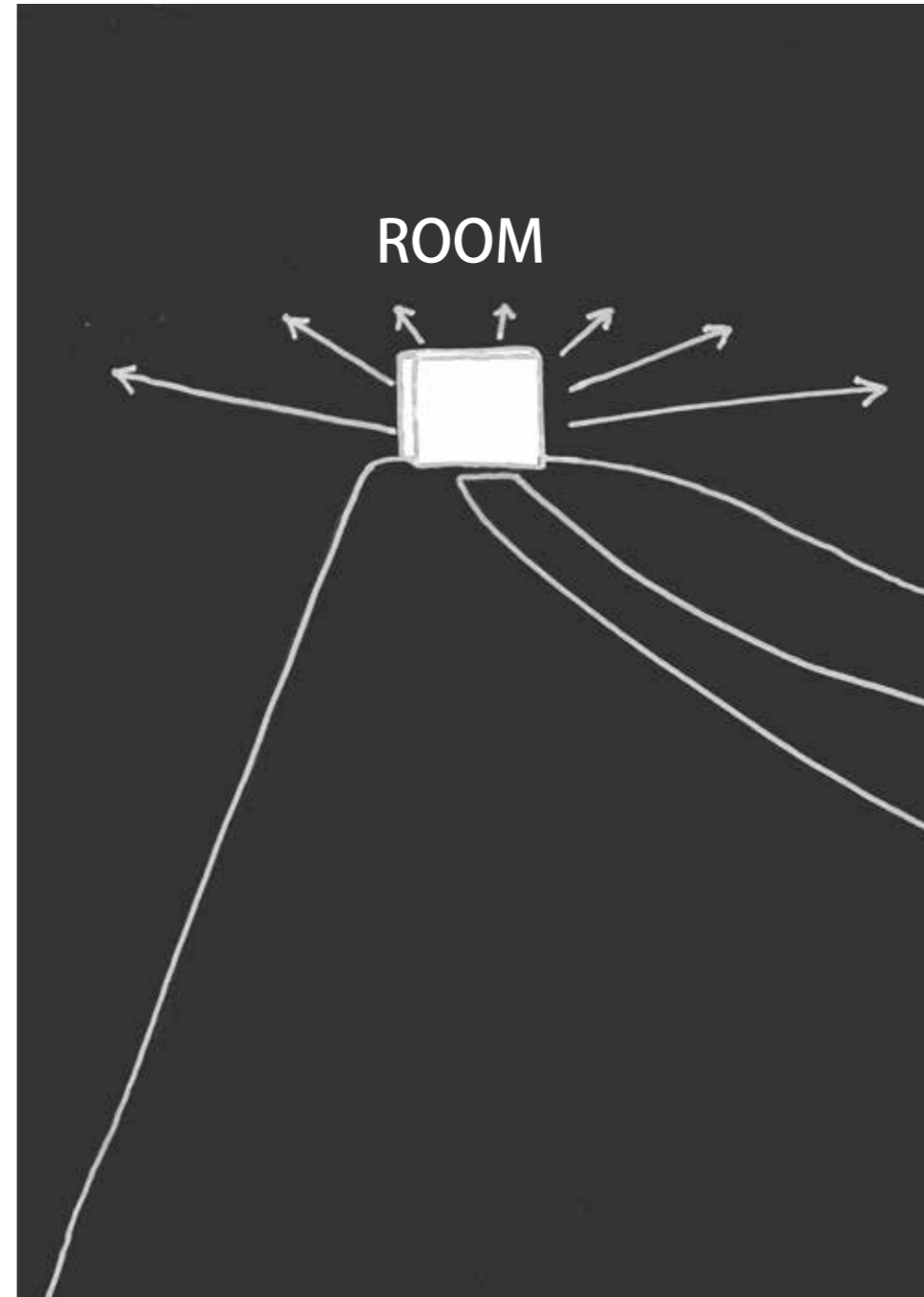
路地のない間取りではすべての部屋は等価で「手前」と「奥」はない。均質で画一的な空間となる。
路地のある間取りでは、「手前」と「奥」を路地がつなぐ。奥行きのある面白味のある空間となる。

DIAGRAM-2

道のりの終着点、山頂にある絶景



道のりの終着点、最奥の部屋にある絶景

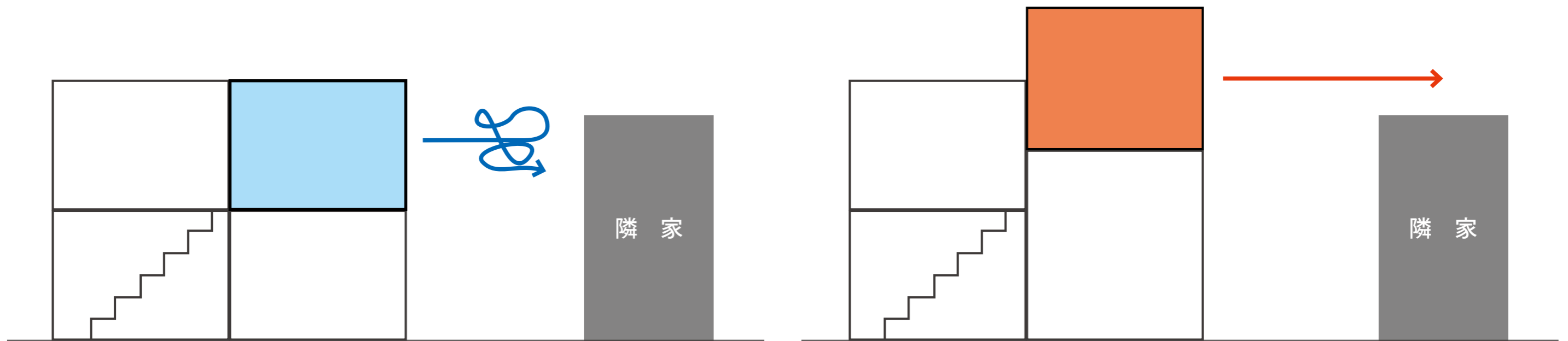


道のりの終着点にはご褒美がある。山頂から眺望が得られるように、最奥部屋からも眺望を得る

DIAGRAM-2

眺望のない間取り

眺望のある間取り



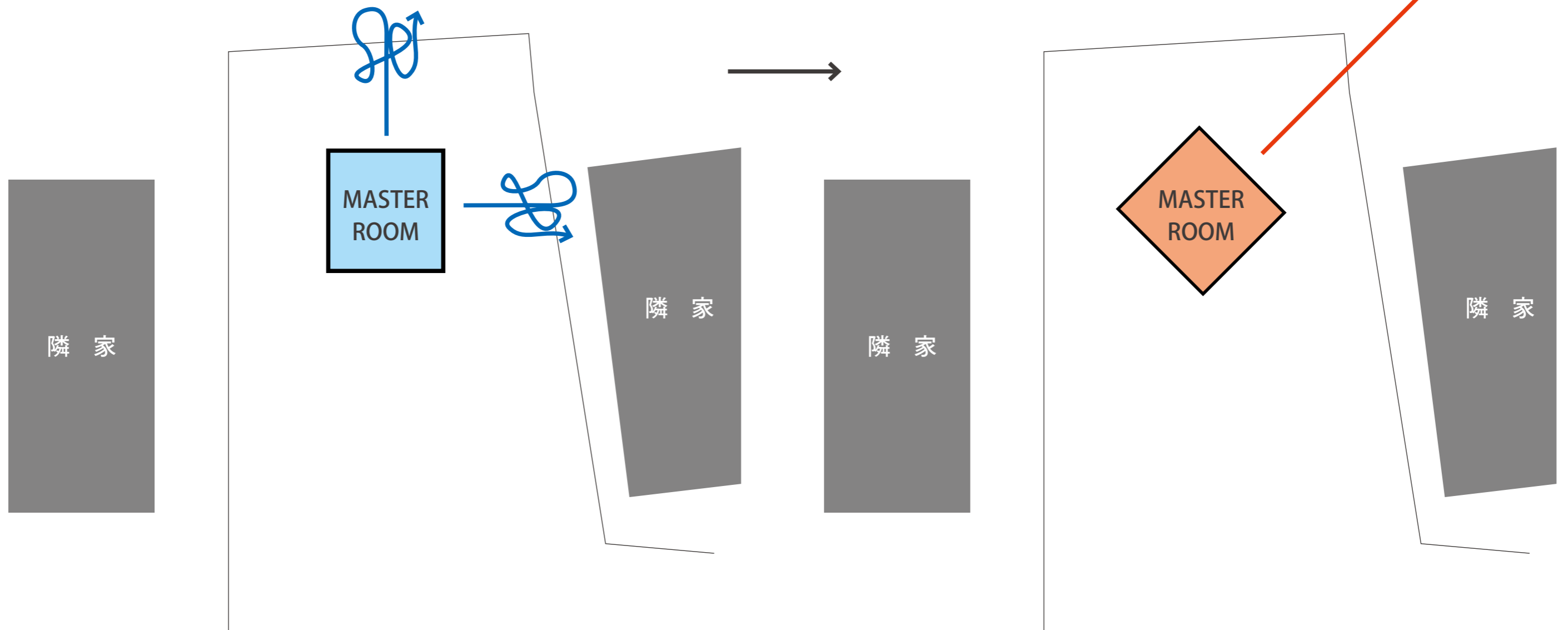
最奥部屋となるリビングを2.5階レベルまで持ち上げることで、最高の眺望を獲得する。

DIAGRAM-2

敷地境界線に沿った配置



敷地境界線を外した配置



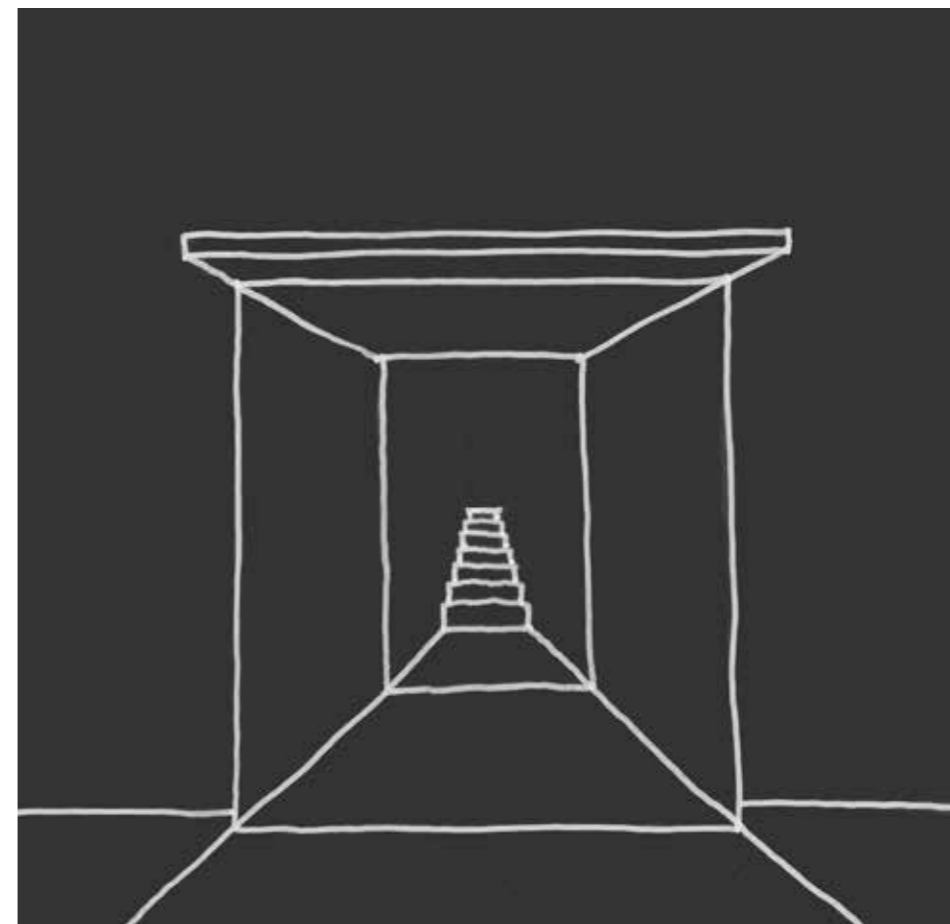
さらに最奥部屋を45°回転させれば、隣家はよりいっそう気にならなくなる。

DIAGRAM-3

門による奥行き



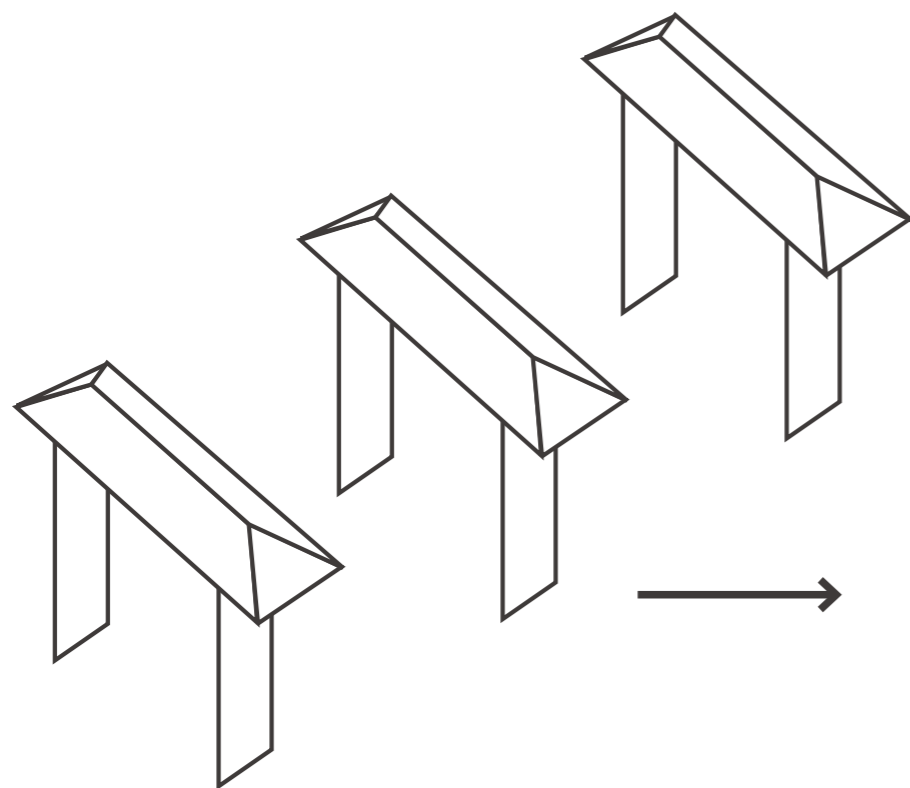
門型ボリュームによる奥行



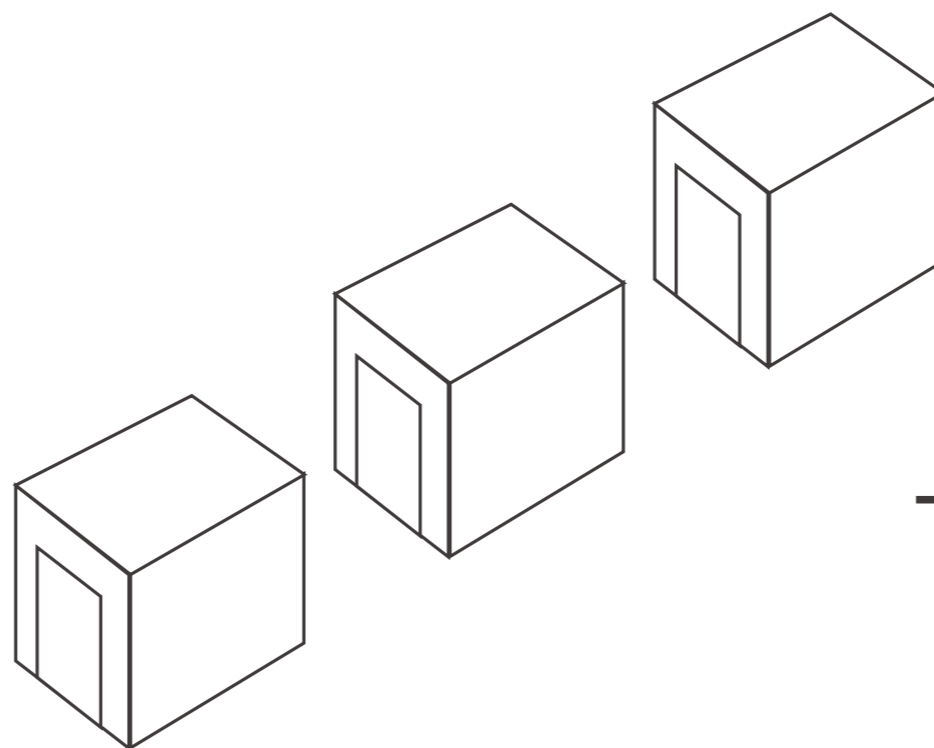
道のりは「門」によって、空間が分節されて奥行き感を与えられる。
「門」で空間に奥行き感を与えられるように、「門型ボリューム」によって空間に奥行き感をつくりだす。

DIAGRAM-3

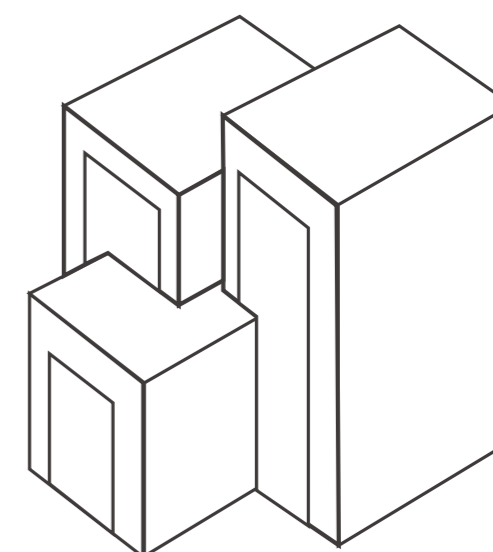
門による空間



門型ヴォリュームによる空間

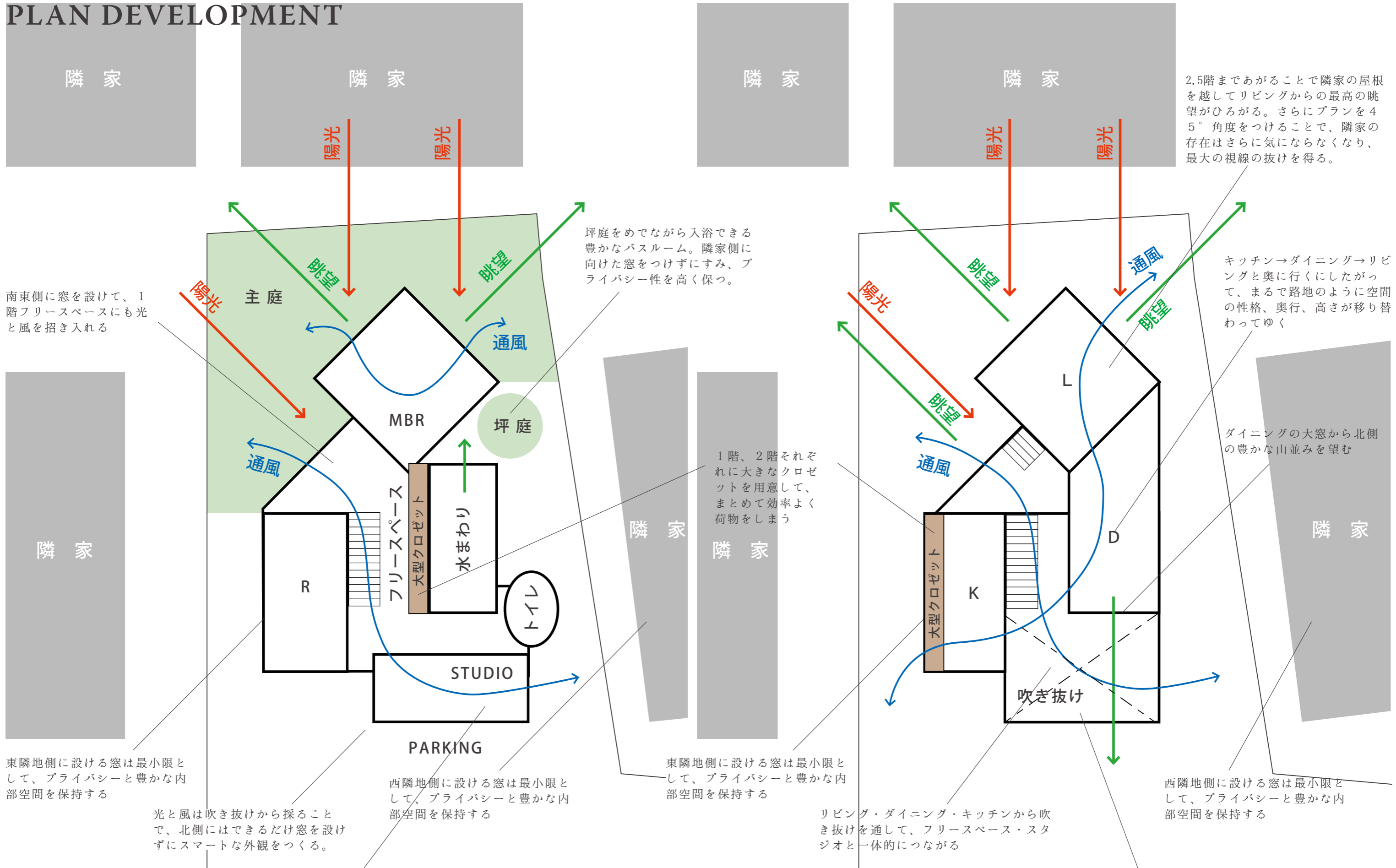


門型ヴォリュームによる空間



門型ボリュームを重ね合わせることで、ひとつの家のなかに、道のりのような奥行感を閉じ込める。

PLAN DEVELOPMENT



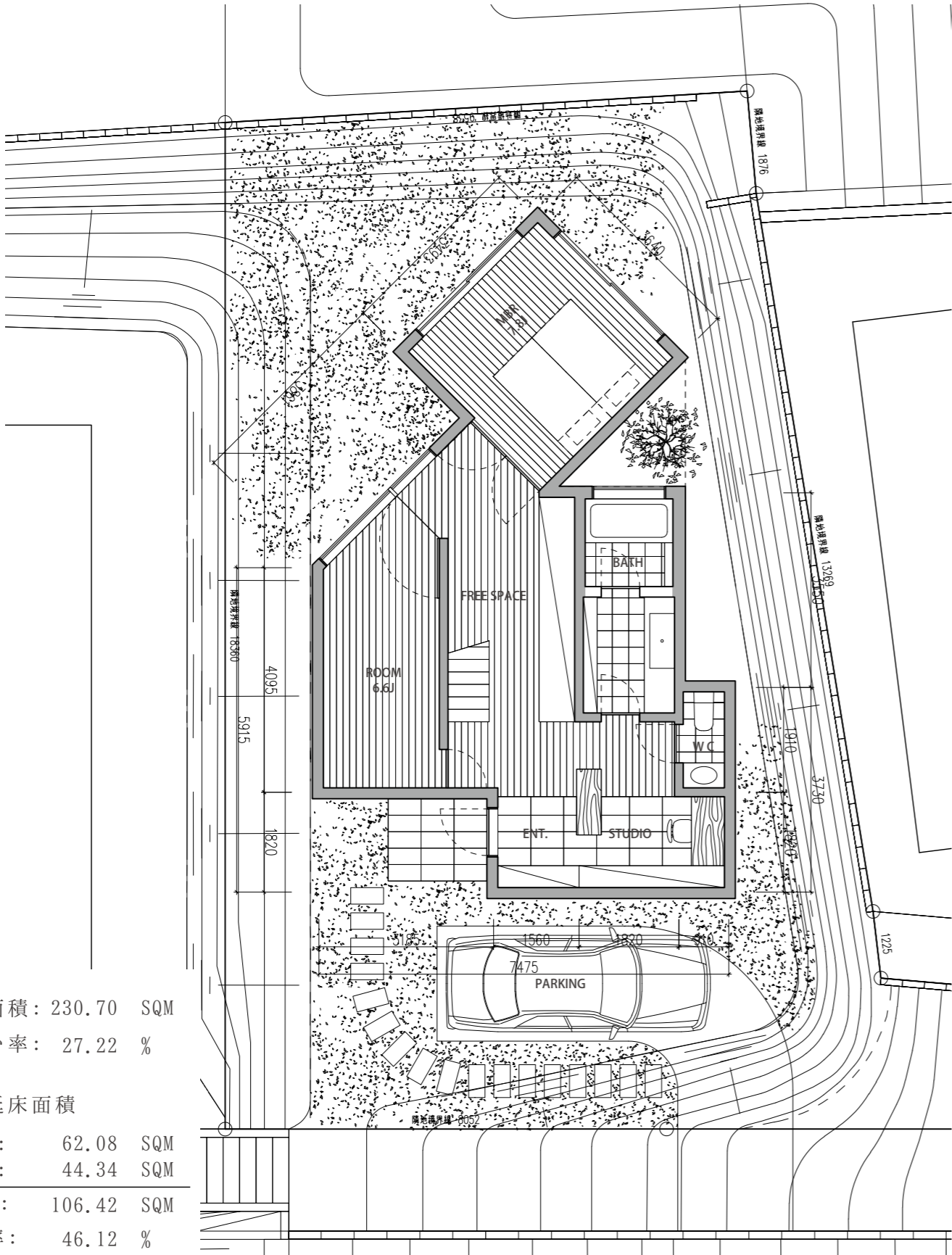
1階プラン 1/100

スタジオの近くに玄関・トイレをまとめて利便性を高める

2階プラン 1/100

階段状にボリュームをセットバックさせることで北側斜線を避けながら、目一杯の高さを確保する

PLAN DEVELOPMENT

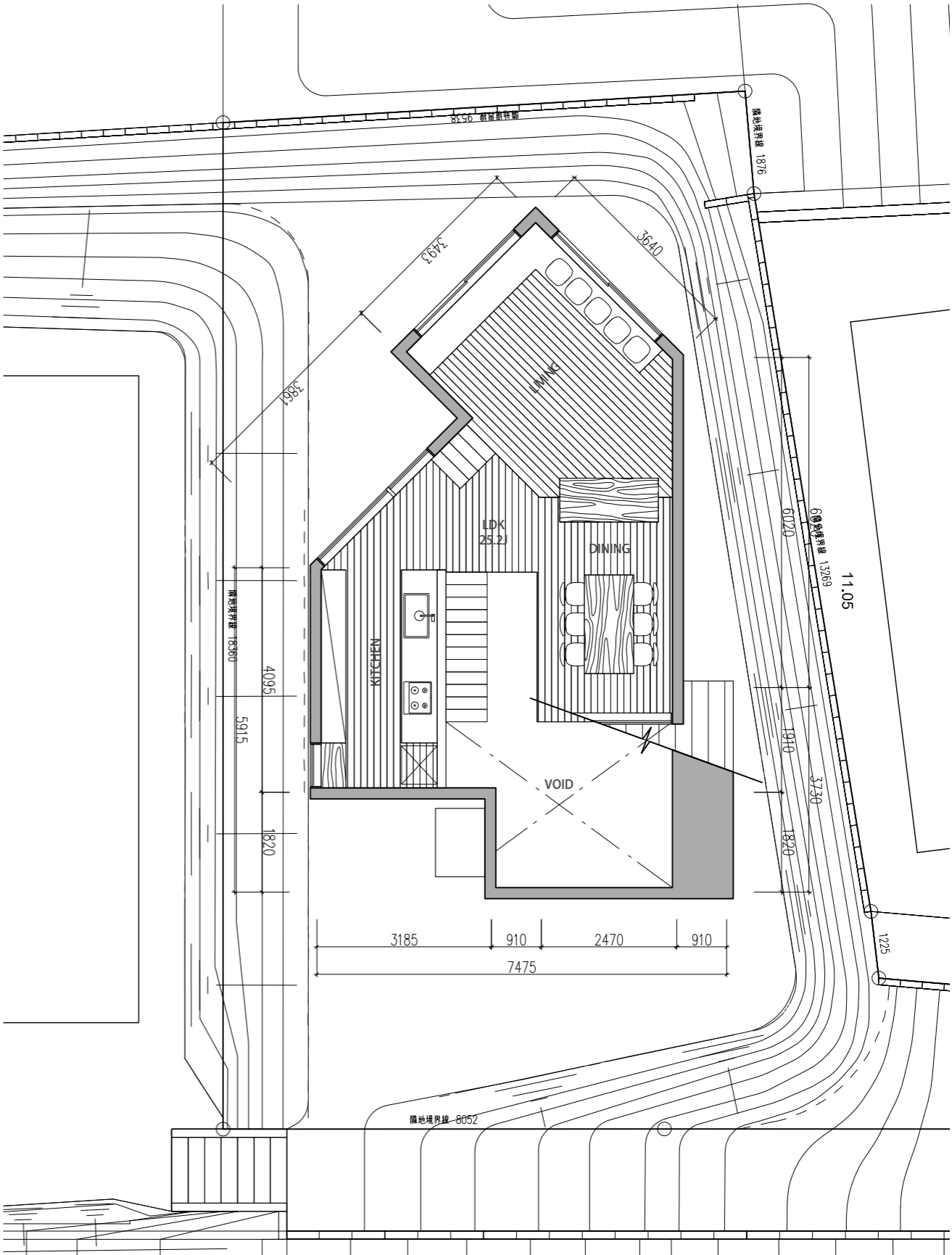


建築面積：230.70 SQM
 建ぺい率：27.22 %

法定延床面積
 1 F：62.08 SQM
 2 F：44.34 SQM
 小計：106.42 SQM
 容積率：46.12 %

※確認申請時に申請機関の指導により、若干プラン調整が生じる可能性があります。
 ※実施段階の設備設計・構造実施設計によって吹き抜け周辺で追加の梁や柱、耐力壁が生じる可能性があります。

1階プラン 1/100



2階プラン 1/100